

ご利用案内

開館時間 午前9時～午後4時

休館日 年末年始

入館料 無料

ガイド 無料

※団体(概ね10人以上)でガイドを希望する場合や、バスの駐車をする場合は事前申し込みが必要です。

○おねがい○

田島弥平旧宅及び周辺の養蚕農家は個人住宅で、現在も居住していますのでご配慮をお願いします。田島弥平旧宅では案内板や職員の案内に従い、養蚕農家では敷地内への立ち入りはご遠慮ください。

無料ガイドのご案内

■案内所展示資料解説……約20分

■田島弥平旧宅……約40分(徒歩)

■田島弥平旧宅と周辺の養蚕農家群……約60分(徒歩)

※所要時間は目安です。
詳しくは職員までお声掛けください。

パンフレットや案内板では
紹介しきれない、
あんな話やこんな話が
聞けるかも！



島チャリのご案内

周辺散策のために、大人用自転車の無料貸し出しを行います。ご利用の際は申請書の記入と身分証明書の提示が必要です。

詳しくは職員までお声掛けください。

交通案内



■電車

- J R 両毛線 ・伊勢崎駅からタクシーで約35分
- 東武伊勢崎線 ・境町駅からタクシーで約15分
- J R 高崎線 ・本庄駅からタクシーで約20分
・岡部駅からタクシーで約15分

■自動車

- 北関東自動車道 伊勢崎ICから車で約30分
- 関越自動車道 本庄児玉ICから車で約20分

■駐車場

「田島弥平旧宅案内所」、
または「島村蚕のふるさと公園」の駐車場を利用してください。

※田島弥平旧宅に隣接する駐車場はありません。

田島弥平旧宅案内所

〒370-0134 伊勢崎市境島村1968-40
TEL・FAX 0270-61-5924
E-mail tajimayahei-annai@lily.ocn.ne.jp

発行 伊勢崎市教育委員会 文化財保護課
〒372-0036 伊勢崎市茂呂南町5097-2
TEL 0270-75-6672 FAX 0270-75-6673

令和3年3月発行

田島弥平旧宅案内所



世界遺産「田島弥平旧宅」
PRキャラクター

くわまる



ようこそ 田島弥平旧宅案内所へ

世界遺産

「富岡製糸場と絹産業遺産群」の
田島弥平旧宅と、境島村の
歴史的・文化的価値をご案内します。



出入口

展示室1・展示室2

ビデオ上映と田島家所蔵の養蚕に関連する資料等の展示をしています。

多目的室

世界遺産や郷土史に関する図書の閲覧ができます。



世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」田島弥平旧宅

田島弥平旧宅とは？

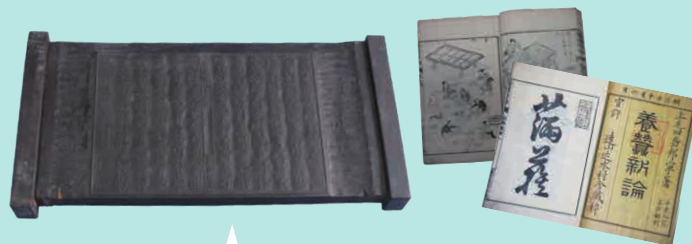


明治時代の田島弥平旧宅

優良な蚕種（蚕の卵）を生産する養蚕技法「清涼育」を大成した田島弥平（1822-1898）の旧宅です。「清涼育」は蚕室内の空気を循環させ、自然に近い環境で蚕を飼育する方法で、幕末から明治にかけての養蚕業の発展に貢献しました。平成26年（2014年）6月に「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産として世界遺産登録されました。



展示資料紹介



養蚕新論 版木（市指定重要文化財）

田島弥平が明治5年（1872年）に刊行した『養蚕新論』の版木（印刷の為に文字や絵を彫った木）です。
『養蚕新論』は自らの数十年にわたる蚕種製造の経験や先学の蚕書の学習を通して著述したものです。特に父（初代弥兵衛）の教えによるところが大きく、父との共著ともいえる蚕書です。



梁川星巖書「香月楼」扁額

田島弥平旧宅の蚕室「香月楼」の扁額（建物や門などの高い位置に掲げられる額）です。「香月楼」は昭和33年（1958年）に解体され、現在は基壇のみ残されています。「香月楼」という名称は嘉永7年（1854年）に田島弥平と金井之恭が幕末の京都を視察した際に依頼したものではないかと考えられています。

顕微鏡

明治12年（1879年）から明治15年（1882年）にかけて行われた、島村勸業会社によるイタリアへの蚕種直輸出の4回目で、社員が持ち帰ったドイツ製の顕微鏡です。顕微鏡は微粒子病という蚕の病気の検査（母蛾検査）や選卵のために用いられました。



島村絵図（パネル展示）

幕末の島村の様子を伝える貴重な絵図です。概ね1/1,200の縮尺で描かれ、図中には「當御知行所 上州佐位郡島村 嘉永五年二月」と記されています。嘉永5年（1852年）には、蛇行する利根川の中州や川岸に小集落が展開し、大小の農家が点在していたことがわかります。



※北が上になるように掲載しています。